

2025  
▼  
2034

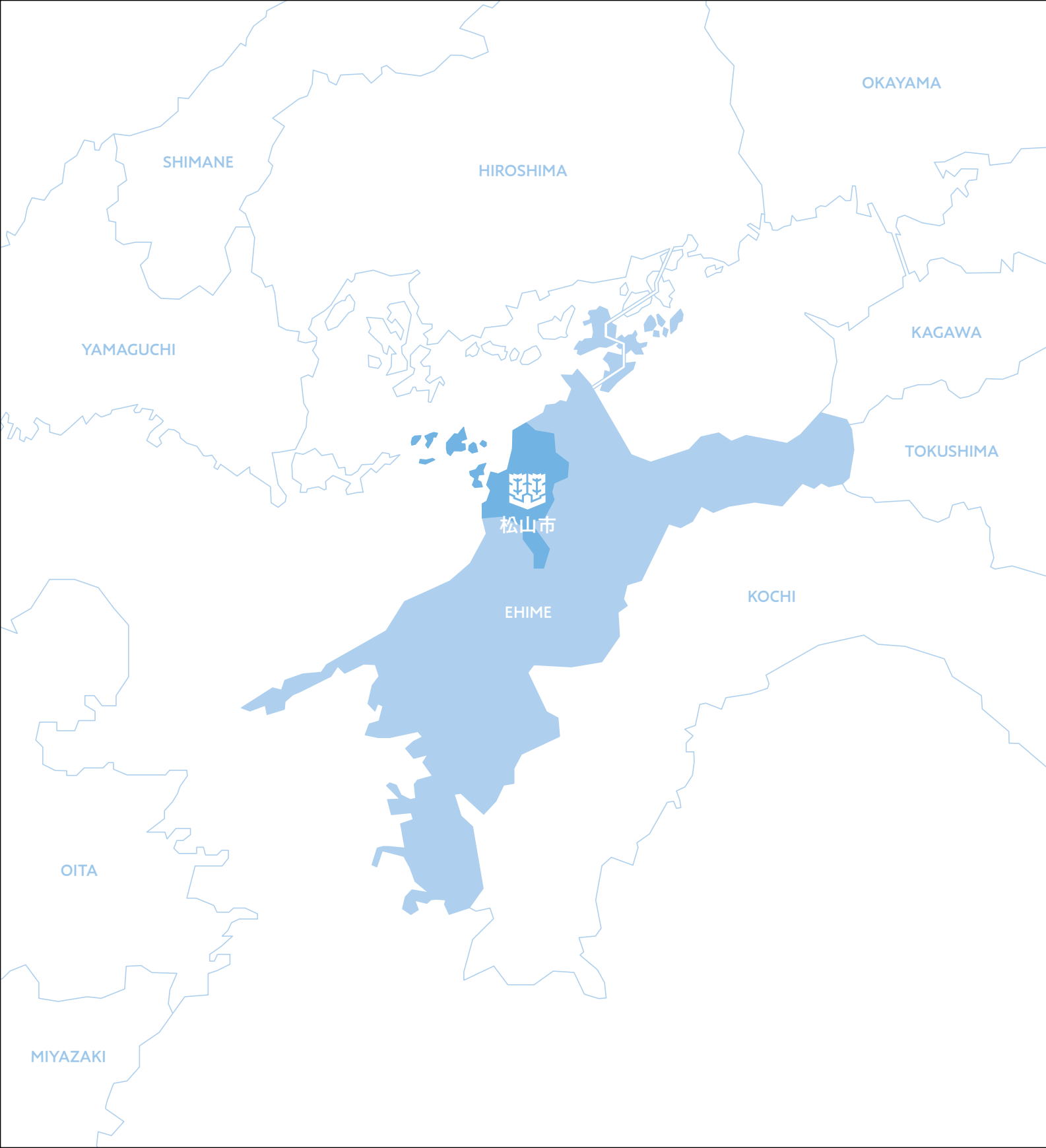
# WITH MATSUYAMA

～いっしょにつくる理想のまち～

未来へのガイドブック

WITH MATSUYAMA ～いっしょにつくる理想のまち～ 未来へのガイドブック

松山市



# WITH MATSUYAMA

～いっしょにつくる理想のまち～

未来へのガイドブック



想像してみてください。

10年後、あなたは  
どこで何をしていますか。



松山に住んでいるでしょうか。

とびきりの笑顔で過ごしているでしょうか。

仕事を楽んでいるでしょうか。

たくさんの友達がまわりにいるでしょうか。



あなたが10年後を想像するとき

「松山の未来はどうなっているのかな」

「こうなってほしいな」「それとも…」

いろいろな未来が思い浮かぶのではないのでしょうか。

でもね

その答えは実は「今」にあります。



たとえば1本の道のように  
未来は現在とひと続きになっています。

今日があるから、明日がくる。

明日の笑顔が未来の幸せにつながっていく。

10年後の松山を描くためには  
今の松山がどんなところなのかを

思い浮かべてみましょう。

# あなたが考える「松山のイチオシ」

松山市は「いで湯と城と文学のまち」として知られ、道後温泉、松山城、俳句など、市民だけではなく、市外、県外、海外の人にも魅力を感じるような、地域の宝があります。



# は何ですか？

あなたならどんなものを思い浮かべますか？  
あなたが「松山が好き!」と思うのは、どんな時ですか？  
「自慢したい!」と思うものは何ですか？



あなたの「イチオシ」を教えてください。その一つひとつが、松山市の魅力です。

# あなたは松山をどんなまちに

松山市民や松山にゆかりがある人たち、  
総勢10,000人以上から聞いた声の一部を紹介します。

地域で子どもを育てる  
環境が整ったまち



子どもや高齢者、  
障がいのある人など  
誰にでも優しいまち



オンラインで他のまちや  
国とつながるまち



歴史や文化が大切に  
継承され続けているまち



街並みがきれいで  
世界中から観光客が来るまち



魅力的な仕事があり、  
多様な働き方ができるまち



# したいですか？

それぞれの世代や立場のみなさんからいただいた意見を元に、「理想のまちの姿」を描いてみると、見えてきたのは、人とのつながり、市内や国内外の多くのまちとのつながり、仕事を通じたつながりなど、さまざまな「つながり」を大切にしたまちでした。

未来のモビリティが活用され、  
国内外から快適に  
アクセスできるまち



いろんな産業が集まり  
ビジネスでの交流が盛んなまち



環境にやさしく  
自然豊かなまち



災害に強く  
安全・安心なまち



他の学校や地域の人と  
たくさん交流できるまち



みんなが幸せに  
過ごせるまち



あなたも、未来の松山の姿を想像してみてください。そこにはどんな風景が見えますか？



「理想のまちの姿」をもっと近くからのぞいてみましょう。

どんな様子が見えるでしょうか。

## 「人」が つながる

誰もがお互いを認め合い、「人」がつながる中で、一人ひとりのライフステージに合わせて充実した日々を送りながら、松山で安心して暮らすことができます。



子育てをする人が切れ目なくサポートを受けている。



いくつになっても学び、スポーツ・文化活動などにチャレンジができる。



こども・若者の意見も反映したまちになっている。



高齢になっても生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らしている。



海外との交流機会が増え、外国人住民との相互理解が進んでいる。



JR松山駅や松山市駅の機能が強化され、利便性が向上している。



瀬戸内の自然環境や生物多様性を大切にしている。



道後温泉・松山城などの地域の魅力がWEBやSNSを通じて世界中に発信されている。



鉄道やバス、航空機、船など、公共交通ネットワークが充実し、便利になっている。



文学のまち松山のあちこちに温かな「ことば」があふれている。

## 「まち」が つながる

国内外のさまざまな「まち」がつながり、地域の特長をいかすことや文化・スポーツなどの交流で、にぎわいが生まれ、松山の魅力がさらに高まっています。また、安全・安心で快適に暮らせる都市環境が将来にわたって続いています。

## 「仕事」が つながる

誰もが自分らしく働くことができる環境があり、仕事にやりがいを感じています。さらに、さまざまな産業が協力し合い、市内外で「仕事」がつながり、人や物、情報、企業が集まることで、地域経済に活力が生まれ続けています。



場所を選ばない働き方ができている。



農林水産物の品質やブランド力が高まり、生産者の所得が増えている。



IT人材の育成や起業支援、DXが盛ん。



産学官が連携し、イノベーションを生み出している。



障がいへの理解が進み、地域や社会の中で自立して生活できる環境が整っている。



## みんなで目指す将来都市像

これからの10年間で実現を目指していく、松山市の将来都市像は、

人、まち、仕事がつながる交流拠点

『SETOUCHIまつやま』

です。

古くからの交流の要所

観光都市

自然と都市部が  
バランスよく同居するまち

第3次産業  
が活発な都市

文化や歴史などが  
満ちあふれた独自の雰囲気

松山

多くの  
ヒト・モノ・文化  
が往来

世界から認知されている  
「SETOUCHI」

世界ブランドのエリアとして  
海外からも人気

一人ひとりの幸せが実現するまちを目指します。

松山には、豊かな自然や歴史、文化財、文学的土壌など、  
先人たちから変わらず受け継がれてきた多くの宝があります。  
これからのまちづくりでは、それらの宝を継承し、魅力を更に高めた上で、  
次の世代へと、しっかりつないでいくことが大切です。

人口が減少する中でも、市民の声、  
特に次代を担う若い世代の声を聴き、  
新しい技術も活用するなど、  
市民のウェルビーイング※実現に向けて  
「つながる力」で挑戦します。

年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、  
安心して「人」がつながり、  
市の内外、そして世界へと「まち」がつながり、  
職業や働き方、住む場所を超えて「仕事」でつながることで相乗的に効果を発揮し、  
世界が注目する「SETOUCHI」で、多くの人と文化が交流する拠点として、  
住み続けられるまち、住み続けたいまち、  
そして若い世代からも選ばれるまちに向けた取組を進め、

※ウェルビーイング … 心身ともに健康で、社会的にも満たされている状態

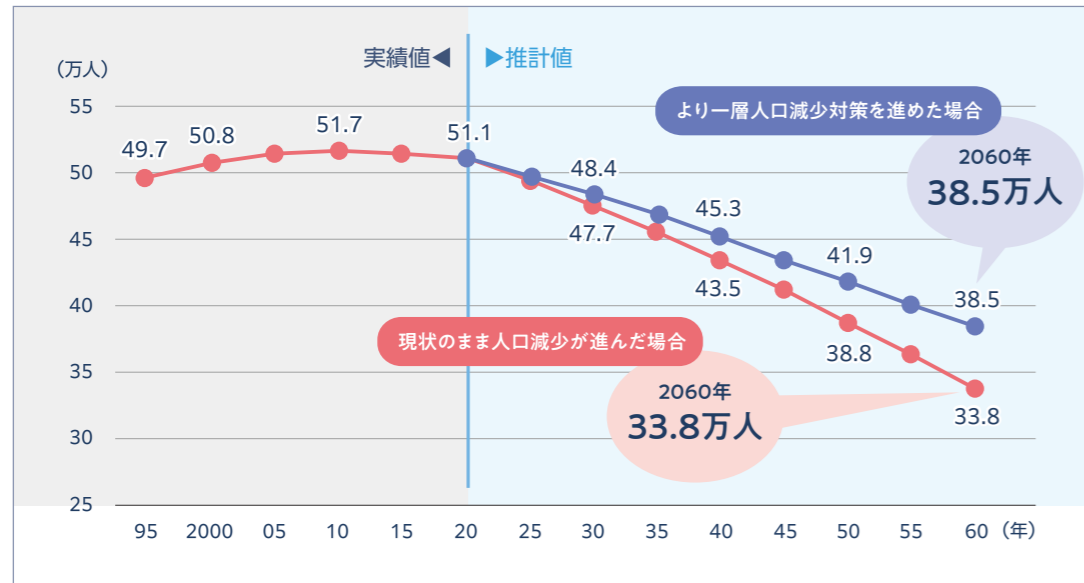
# 松山市の人口の今とこれから

地方都市のまちづくりでは、人口減少対策が重要なカギになっています。  
 人口が減少する大きな要因は、若者が市外に出てしまうことや、生まれるこどもの数が少なくなっていることです。  
 この状況が続くと、まちに住む若者や働く人が減り、  
 地域の元気がなくなったり、今よりも生活が不便になるおそれがあります。

では、松山市の人口はどうなっていくのでしょうか。  
 2020年の国勢調査で、松山市の人口は51.1万人でしたが、現状のまま人口減少が進むと、  
 2060年には33.8万人になることが予測されます。  
 しかし、より一層人口減少対策に取り組むことで、人口が減るスピードがゆるやかになり、  
 予測より約5万人多い38.5万人になることが期待できます。



《参考:2060年の松山市の人口を推計してみると…》



**赤いグラフ** … 以下の条件で算出した推計値  
 ● 合計特殊出生率が「人口動態統計」(松山市保健所)の2018年から2022年の平均値  
 ● 純移動率が2021年10月1日時点と2023年10月1日時点の住民基本台帳登録者数から算出した値

**青いグラフ** … 人口減少対策を進め、以下を見込んだ場合の推計値  
 ● 合計特殊出生率が2060年に2.07、社会増減が2025年以降均衡

※「合計特殊出生率」：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの  
 ※「純移動率」：特定の期間の転入者数から転出者数を引いた純移動数の人口に対する割合  
 ※「社会増減」：転入と転出による人口の増減

# これからのまちづくりに大切な視点と進め方

人口が減少するなかでも、  
 安心して暮らし続けられるまち、一人ひとりが幸せを実感できるまちを目指し、  
 次の3つの大切な視点をみなさんと共有し、  
 一緒にまちづくりを進めていきたいと思います。

## 1 デジタル技術で社会の姿を変える

デジタル技術で、病院のオンライン受診や場所を選ばない働き方などができるようになり、暮らしの便利さや仕事の効率、まちの魅力を高めていくことができます。そこで、あらゆる分野でデジタル技術の活用を検討し、みなさんの「こうなったらいいな」を実現していきます。

## 2 知識や技術を組み合わせることで課題を解決する

地域の課題にはさまざまな背景がからみ合い、一つの分野の取組だけでは、解決が難しくなっています。そこで、課題に対し、それぞれの主体の得意分野の知識や技術をいかして、つなげることで、これまでないアイデアを生み出し、より効果的に解決していきます。

## 3 みんなで未来を創る

地域課題は複雑化・多様化しており、行政だけで解決できるものではありません。そこで、市民や事業者、関係団体のみなさんと目指す未来を共有し、それぞれが地域の経済や暮らしを支える担い手となることで、持続可能なまちづくりを一緒に進めていきます。

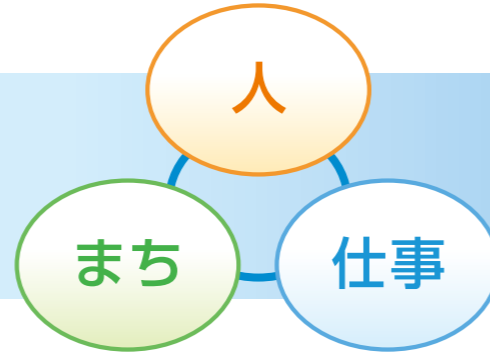
# 将来都市像の実現に向けて

みなさんの声から、「理想のまちの姿」が見えてきました。

「理想のまちの姿」を思い描きながら、これからの10年間で「将来都市像」を実現することを目指して、11の「まちづくりの分野別未来像(2034年の未来像)」を掲げています。

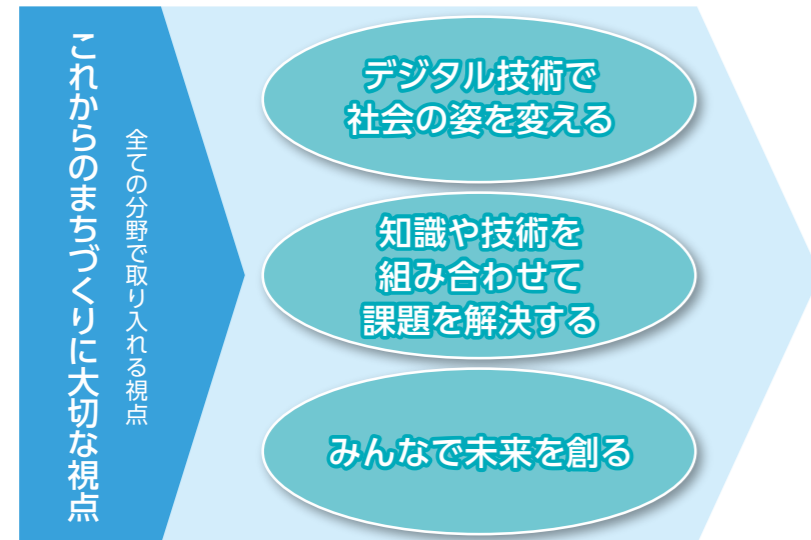
## 理想のまちの姿

みんなが理想的だと思うまちの状態



## まちづくりの分野別未来像 (2034年の未来像)

将来都市像の実現に向けて11分野でめざす未来の姿



理想の未来を実現するためには、行政だけでなく、市民や事業者、関係団体のみなさんなど、一人ひとりがまちづくりを自分事としてとらえて「つながり」、自分のできることから始めることが大切です。

笑顔大切に、一人ひとりの幸せが実現するまちを目指し、「つながる力」で挑戦することを「まちづくりの理念」として、みなさんと共有しながら、将来都市像の実現に向けて取り組みます。

## 将来都市像 みんなできめざす10年後の松山の姿

# 人、まち、仕事がつながる交流拠点 『SETOUCHIまつやま』

まちづくりの理念  
将来都市像の実現に向けて大切に考える

### 一人ひとりの幸せが 実現するまちへ

みんなで協働



市民



松山市



事業者



関係団体

### ～笑顔大切に「つながる力」で挑戦～



松山には、たくさんの宝物がありましたね。

時代の変化をとらえて、より良いまちづくりにいかしていく

さまざまな視点がありましたね。

松山市がこれからみなさんと一緒に目指すのは

どんなまちなのかを知ってもらおうきっかけになったでしょうか。



今日ここに**ある**宝物を、明日へとつなぐ。

**誰もが**幸せになれる、未来を実現する。

そんなまちづくりに必要なのは

一人ひとりの思いと行動力です。

あなたにできることを考えてみませんか。

ふるさと松山のために、共に行動してみませんか。

まちづくりの分野別未来像



# まちづくりの分野別未来像

これからの10年間で、11の分野ごとにめざす姿を「まちづくりの分野別未来像(2034年の未来像)」として形にしました。

まずは、あなたが興味のある分野から、どんな未来を目指しているか、確認してみてください。

そして、あなたにできることや誰かと一緒ならできることが何か、考えてみてください。

さらに、考えたことをだれかに話してみてください。

みなさんの行動が、松山市を理想の未来につなげる、大きな力になります。

地域で子どもを育てている

分野 **1**

子どもを輝く未来へつなぐ  
【子ども・教育】

P26



つながりと支えあいを大切にしている

分野 **2**

人と人の支えあいをつなぐ  
【福祉】

P28




健康でいきいき暮らしている

分野 **3**

健康をつなぐ  
【健康・医療】

P30



さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる

分野 **6**

人と仕事と暮らしをつなぐ  
【経済・産業】

P36



自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる

分野 **7**

まちとまちをつなぐ  
【交通】

P38




大好きな松山で、自分らしくいられる

分野 **4**

自分らしさと誇りをつなぐ  
【共生社会・コミュニティ】

P32



松山ファンが増えて、集まってくる

分野 **5**

ワクワクを全国・世界へつなぐ  
【都市の魅力】

P34



災害への備えがあり、安心できる

分野 **10**

安全と安心をつなぐ  
【安全・安心】

P44



つながりがまちの活力になっている

分野 **11**

つなぐを支える  
【連携】

P46



都会と田舎の住みやすさが共存している

分野 **8**

にぎわいと住みやすいまちをつなぐ  
【都市空間】

P40



自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている

分野 **9**

豊かな自然と暮らしをつなぐ  
【環境】

P42



2034年の未来像

# 地域でこどもを育てている

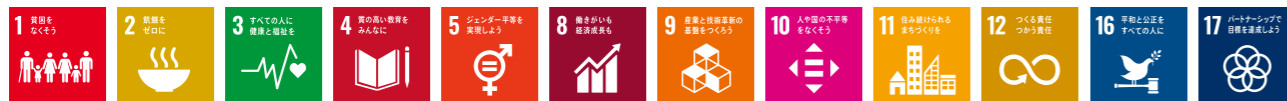


こどもが居心地がいいと感じる居場所や遊び場がある。



デジタルの活用などで一人ひとりにあわせた学びや多様な他者と協働する学びが充実している。

【この分野に関する主なSDGs】



子育てをする人が切れ目なくサポートを受けている。

地域全体でこどもを見守り、子育てを応援している。



結婚や子育ての不安・負担が減って、希望を実現できている。



こども・若者の意見も反映したまちになっている。

松山の歴史や伝統文化を知ること、ふるさとへの愛着や誇りを持つこどもが増えている。

みんなで市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

子育てしてよかったと思う市民の割合

95.6%

## 松山市が取り組むこと

- 結婚・出産を望む人の希望を叶えられるよう後押しします。
- こどもや若者のライフステージに応じて、子育てを切れ目なく応援します。
- 性別に関係なく、働きながら子育てしやすい環境を整えます。
- デジタルの活用などで、こども一人ひとりの興味を引き出し、主体的・効果的に学べる環境づくりを進めます。
- こどもの権利が尊重され、地域で活躍できる「こどもが主役のまちづくり」を進めます。
- 地域の大人が身近にいるこどもの成長を温かく見守る地域づくりを進めます。

## みなさんもやってみませんか

子育て仲間をつくったり、子育ての楽しさをみんなに伝えたりしてみよう

身近にいるこどもをちょっと気にかけてみよう

住んでいる地域の学校の活動に関心を持ってみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# つながりと 支えあいを 大切にしている

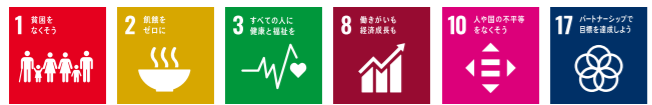


地域福祉に関心を持ち、  
自分のできる範囲で行動に移す人が  
増えている。

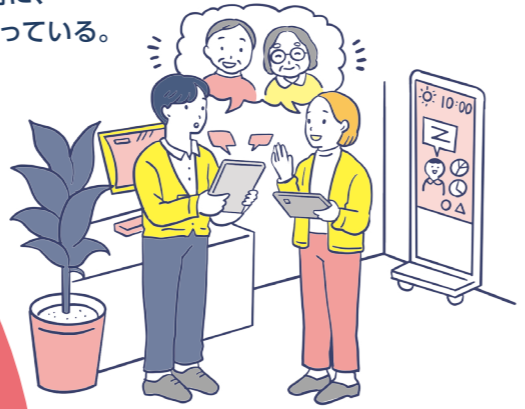


高齢になっても生きがいを持ち、  
住み慣れた地域で安心して暮らしている。

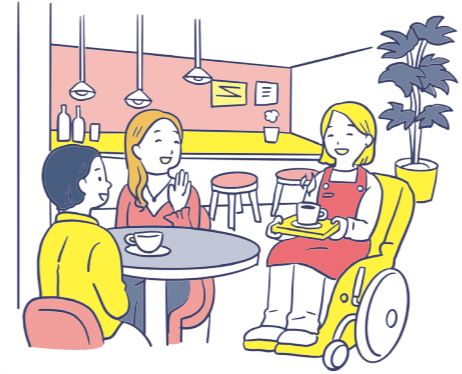
【この分野に関する主なSDGs】



困った時に、  
地域で支えあっている。

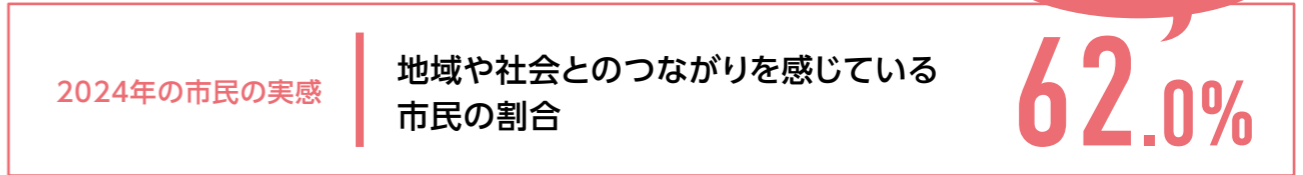


介護DXなどで  
働きやすい職場環境を作り、  
介護人材を確保できている。



障がいへの理解が進み、  
地域や社会の中で自立して  
生活できる環境が整っている。

みんなで  
市民の実感を高めよう



- 松山市が取り組むこと
- さまざまな活動をする人たちと連携して、暮らしの中の困りごとの解決をサポートします。
  - 年齢を重ねても、ずっと元気でいきいきと暮らせる地域づくりを進めます。
  - 障がいのある人が、地域で自分らしく暮らせる環境を整えます。
  - 民生委員・児童委員や福祉ボランティアなど、地域での福祉の担い手を育成・支援します。

みなさんもやってみませんか

いくつになっても、気の合う仲間と一緒に  
好きなことを楽しもう

困ったことがあったら、  
ご近所さんで助け合おう

わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---





2034年の未来像

# 健康でいきいき 暮らしている



食の安全が確保され、  
安心して食事することができる。

【この分野に関する主なSDGs】



自分に合った方法で、健康づくりに取り組み、  
心身ともに健康な人が増えている。



感染予防に必要な情報を知り、  
対策に取り組むことで、  
健康につながっている。

必要なときに  
必要な医療が受けられる体制が  
維持されている。



かかりつけ医を利用する市民が増え、  
一人ひとりに適した医療が  
提供されている。

動物の適正飼育や動物愛護について  
正しく知っている人が増えて、  
動物愛護の意識が高まっている。

みんなで  
市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

医療体制が充実していると思う  
市民の割合

85.0%

## 松山市が取り組むこと

- 健康教育や健康相談などで、市民の健康づくりを支援します。
- 健診の受診や定期予防接種を通じた健康管理を促すことで、心身ともに健康で質の高い生活を送れるよう支援します。
- 必要な時に必要な医療が受けられる体制を整えます。
- 衛生的な環境が守られるよう、食の安全確保や感染症対策などに取り組みます。

## みなさんもやってみませんか

質のよい食事・睡眠、適度な運動で、  
自分の体を大切にしよう

感染症に気を付けて、  
健康で衛生的な暮らしを守ろう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# 大好きな松山で、 自分らしく いられる



いくつになっても学び、  
スポーツ・文化活動などに  
チャレンジができる。

地域のために  
自分にもできることがある!

【この分野に関する主なSDGs】



戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、  
次世代に継承されている。

全ての人が互いを尊重し、  
性別にかかわらず  
対等に能力を発揮できている。



海外との交流機会が増え、  
外国人住民との相互理解が進んでいる。

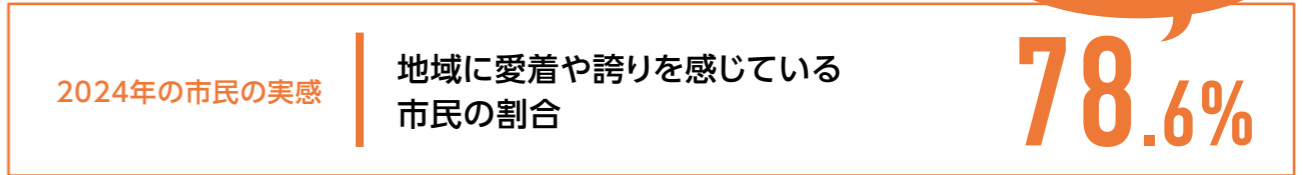
移住者や若者にとっても  
暮らしやすいまちになっている。



文学のまち松山の  
あちこちに温かな「ことば」が  
あふれている。

伝統行事や交流イベントなどで、  
地域の魅力に触れる機会が増えている。

みんなで  
市民の実感を高めよう



## 松山市が取り組むこと

- 一人ひとりの人権が尊重され、平和を実感して暮らせるまちづくりを進めます。
- 松山ならではの地域の魅力を市民に知ってもらい、松山への愛着や誇りを育みます。
- 幅広い年代の市民が、地域活動へ積極的に参加できるよう後押しします。
- いくつになっても好きな時に学びやスポーツ、文化芸術活動を楽しめる環境を整えます。

## みなさんもやってみませんか

自分が差別心や偏見を持っていないか、  
考えてみよう

まちの魅力を見つけて、  
さまざまな活動に参加してみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# 松山ファンが増えて、 集まってくる



プロスポーツの試合が盛んで、  
スポーツをきっかけに  
松山を訪れる人が増えている。



松山ならではの「ことば」文化が  
全国から注目されている。



道後温泉・松山城などの地域の魅力が  
WEBやSNSを通じて  
世界中に発信されている。



移住先として認知度が高まっている。  
松山に住みたい人や  
住み続けたい人が増えている。

家族や友達と一緒に出かけたい場所や  
買い物できる場所が増えている。

松山の魅力が市の内外に伝わり、  
市民の愛着や誇りと、市外からの関心や  
憧れが高まっている。

誰もが安心して観光でき、  
広域で周遊する人や  
延泊する人が増えている。

【この分野に関する主なSDGs】



みんなで  
市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

松山市の魅力が友人や知人に  
紹介したいと思う市民の割合

74.1%

## 松山市が取り組むこと

- 地域のさまざまな魅力を伝え、松山に遊びに来る人、移住する人、松山が好きで関わる人を増やします。
- 周辺市町や瀬戸内地域を含めた周遊型の観光やMICEの誘致で、広域から松山へ人を呼び込みます。
- 松山が大切にしてきた「ことば」文化や歴史、プロスポーツ、まちなかでの買い物などの魅力を、より多くの人に知って楽しんでもらいます。

## みなさんもやってみませんか

松山の新たな魅力を見つけて、  
市外の人にも紹介してみよう

観光や移住で松山に来た人に  
親切にしてみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる



農林水産物の品質やブランド力が高まり、生産者の所得が増えている。

農業DXの推進で、生産性が高まり、担い手の確保につながっている。

まち歩きや買い物を楽しむ市民や観光客で商店街がにぎわっている。

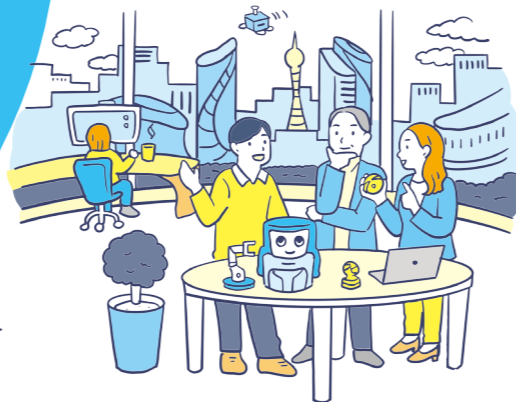
【この分野に関する主なSDGs】



松山の企業に就職する若者が増えている。IT人材の育成や起業支援、DXが盛ん。



業務のデジタル化などによる生産性の向上で、市内中小企業が元気になっている。



産学官が連携し、イノベーションを生み出している。

誰もが働きやすく、多様な働き方ができる。

市外の企業や人とのつながりで、関係人口が増えている。

みんなで市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

現在の職場が働きやすいと思う市民の割合

70.8%

## 松山市が取り組むこと

- 若者、女性、高齢者、外国人など、さまざまな人材が、それぞれのやりがいを持って働ける環境づくりを進めます。
- 松山の企業や事業者の活発な活動を促し、新たなチャレンジをサポートするとともに、イノベーションの創出に取り組めます。
- 企業誘致や農林水産業の基盤整備、流通機能の充実で地域経済の活性化を促します。

## みなさんもやってみませんか

自分も仲間も気持ちよく働ける職場をつくらう

普段から食べている松山の産品を市外の友達にも勧めてみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# 自分に合った 移動手段で、気軽に 出かけられる



松山外環状道路の整備などが進み、渋滞が減って、目的地へのアクセスがよくなっている。

鉄道やバス、航空機、船など、公共交通ネットワークが充実し、便利になっている。

【この分野に関する主なSDGs】



歩いて暮らせる快適なまちづくりと次世代モビリティの導入などが進んでいる。



JR松山駅や松山市駅の機能が強化され、利便性が向上している。



四国新幹線の実現に向けた機運が盛り上がっている。

空港の路線が拡大され、港湾機能が充実し、市内外の人の往来が活発になっている。

みんなで  
市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

気軽に目的地へ移動しやすいと思う  
市民の割合

68.6%

## 松山市が取り組むこと

- 市内のどこからでもストレスなく移動できる、コンパクトなまちづくりを進めます。
- 徒歩や自転車でも移動しやすいまちの整備や次世代モビリティサービスの導入を進めます。
- 目的地へのアクセスを良くするため、主要な道路の整備を進めます。
- 鉄道や空港、港などの交通環境を整備し、市内外の人の流れを活発にします。

## みなさんもやってみませんか

できるだけ公共交通機関や徒歩、  
自転車で移動してみよう

まちの魅力を探しに、  
訪れたことがない場所に行ってみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



2034年の未来像

# 都会と田舎の 住みやすさが 共存している

都会的な街並みと自然が調和した、  
松山らしい景観が守られている。



都市機能が集約されたコンパクトな  
まちづくりが進んでいる。



JR松山駅周辺や松山市駅前の整備、  
まちなかの再開発で  
中心市街地がにぎわっている。

住宅の長寿命化や  
バリアフリー化が進み、  
安全で快適な住環境が整っている。

大規模災害にも耐えられる  
都市インフラが整備され、  
安心して暮らせる。



一人ひとりの節水意識が高く、いつでも  
安心して水を使える環境が整っている。

【この分野に関する主なSDGs】



みんなで  
市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

松山市は住みやすいと思う  
市民の割合

92.2%

## 松山市が取り組むこと

- 緑豊かでコンパクトなにぎわいのあるまちをつくれます。
- 空き家の流通を促し、老朽化して危険な空き家の撤去を支援するなど対策を進めます。
- 災害に強い生活道路や上下水道の整備などにより、安全で快適なまちづくりを進めます。
- 節水機器の普及や、水を貯える「水源かん養林」の整備などで、節水型都市づくりを進めます。

## みなさんもやってみませんか

休みの日にはまちなかで  
買い物やまち歩きを楽しもう

水を大切に使う

## わたしにもできること

-----

-----

-----

-----

-----



2034年の未来像

# 自然を大事にして、 環境にやさしい 暮らしをしている



瀬戸内の自然環境や  
生物多様性を大切にしている。



美化活動が盛んで、  
まちが清潔に保たれている。



一人ひとりが脱炭素に  
つながる行動を行っている。

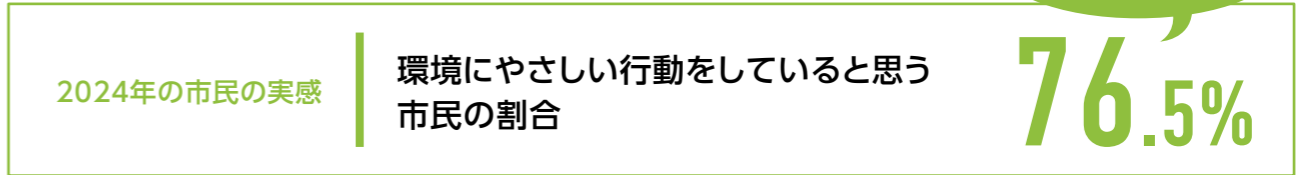


松山は空気や  
水がキレイ。

【この分野に関する主なSDGs】



みんなで  
市民の実感を高めよう



- 松山市が取り組むこと
- 地球温暖化の防止と持続可能な社会を実現するため、脱炭素化に取り組みます。
  - 3R(リデュース、リユース、リサイクル)やごみの適正処理を促します。
  - 豊かな自然を守るため、気候変動や生物多様性などへの市民の理解を高めます。
  - 大気や水質などの状態を良好に保ち、生活環境を守ります。

みなさんもやってみませんか

ごみを減らして  
まちをきれいにしよう

松山の自然に触れる  
機会をつくろう

わたしにもできること

---

---

---

---

---

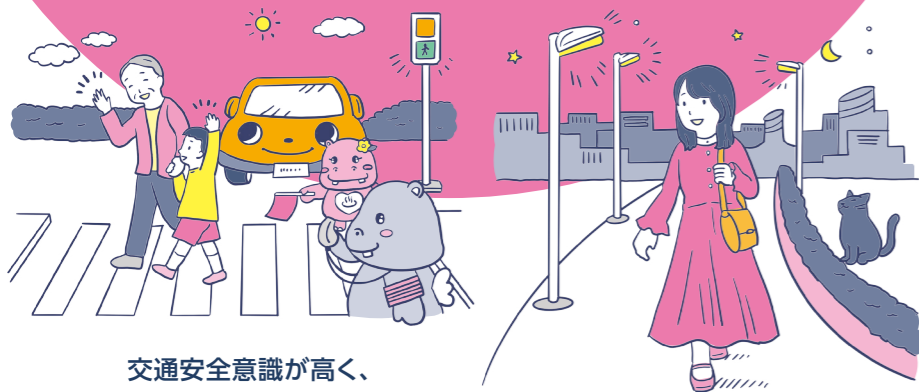
---

---

---

2034年の未来像

# 災害への備えがあり、安心できる



交通安全意識が高く、安心して外出できる。

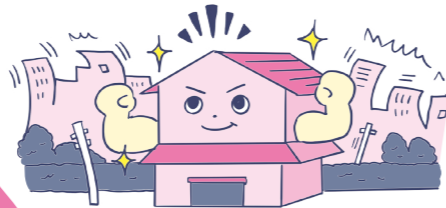


LED防犯灯の設置が進み、夜も安心。

【この分野に関する主なSDGs】



建物の耐震化が進んでいる。



地域や職場の中で、防災リーダーが世代を問わず育っている。

日頃からの訓練や連携強化で、万が一の災害への備えが進んでいる。



救急車を本当に必要としている人が安心して利用できる。

消防団になりたい人が増えて、女性や若い世代も活躍している。

みんなで市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

日頃から災害に備えていると思う市民の割合

54.5%

## 松山市が取り組むこと

- 災害発生時に素早く対応が取れるよう、日頃から国や県、自主防災組織などの関係機関と連携します。
- 小学生から高齢者まで幅広い年代を対象にした防災教育に取り組み、地域の中で防災を担う人材を育成します。
- 「防災士フォローアッププログラム」を実践し、地域や職場の防災リーダーのスキルアップを進めます。
- 消防や救急の体制を強化するほか、消防団の充実・強化や救急車の適正利用を促す取組を進めます。
- 防犯対策や交通安全教育、消費者保護を通じた安全で安心なまちづくりを進めます。

## みなさんもやってみませんか

地域の災害リスクを知り、避難所・避難経路を確認して、マイ・タイムライン(家族の防災行動計画)を作成してみよう

自分や家族にあわせた非常用持出品・家庭内備蓄品を準備しよう

交通マナーを守って交通安全を心がけよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---





2034年の未来像

# つながりが まちの活力に なっている



自宅等にいながらインターネットを通じて  
できる手続きの数が増えている。

普段使っているスマートフォンなどの  
デジタルツールに、松山市から  
必要な情報が届いている。

【この分野に関する主なSDGs】



多様な地域の資源を  
最大限に活用している。



市役所が身近で、  
意見交換しやすい。

民間と自治体のそれぞれが持つ  
知識、技術、情熱を融合させ、  
課題の解決につながっている。

公共施設が快適に利用でき、  
人と人をつなぐ場になっている。



いつの時代も、困った時には  
頼りになる職員がいる  
市役所に相談できる。

大切な個人情報、しっかりとした  
セキュリティで守られて安心。

みんなで  
市民の実感を高めよう

2024年の市民の実感

デジタル化で生活が便利になったと  
思う市民の割合

65.4%

## 松山市が取り組むこと

- 企業や教育機関、民間団体と連携した地域課題の解決や、広域での他市町などとの連携で地域の活性化を進めます。
- 限られた経営資源の有効活用や民間との協働などで持続可能な行財政運営を行います。
- デジタル技術の活用等で業務を効率化し、人にしかできない、人だからこそできる業務に注力することで、新たな価値を創出し、市民サービスの質を向上させます。
- 市長や職員が直接市民の声を聞くとともに、市民の積極的な市政への参加を促します。

## みなさんもやってみませんか

市役所の手続きを  
オンラインでやってみよう

市のイベントやワークショップで  
意見やアイデアを出してみよう

## わたしにもできること

---

---

---

---

---

---

---

---



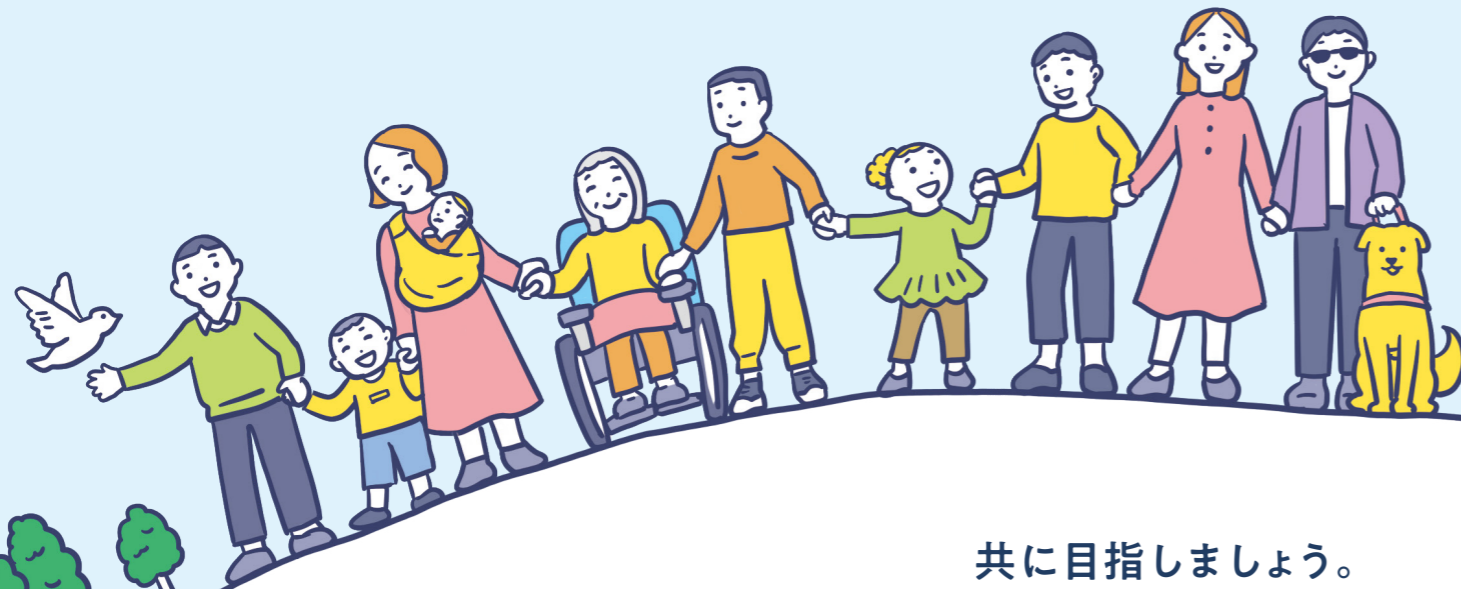
共に挑戦しましょう。

みんなが手を取り合って

さまざまな願いを形にする理想のまちづくりに。

最先端のデジタル技術がそれを支える

新しい時代のまちづくりに。



共に目指しましょう。

「人」がつながり

「まち」がつながり

「仕事」がつながる交流拠点としての

幸せなまちづくりを。

共に進みましょう。

10年後、松山が今よりもっと

魅力あるふるさとに

なるための道を。



共に夢見ましょう。

松山で暮らしていても

離れていても

ふるさとを心から大切に思い

誇りを持って生きる日々を。

資料編



## 【総合計画について】

この冊子「WITH MATSUYAMA ～ いっしょにつくる理想のまち～」未来へのガイドブックは、「第7次松山市総合計画」をわかりやすく伝えるために作成しました。

### 総合計画とは

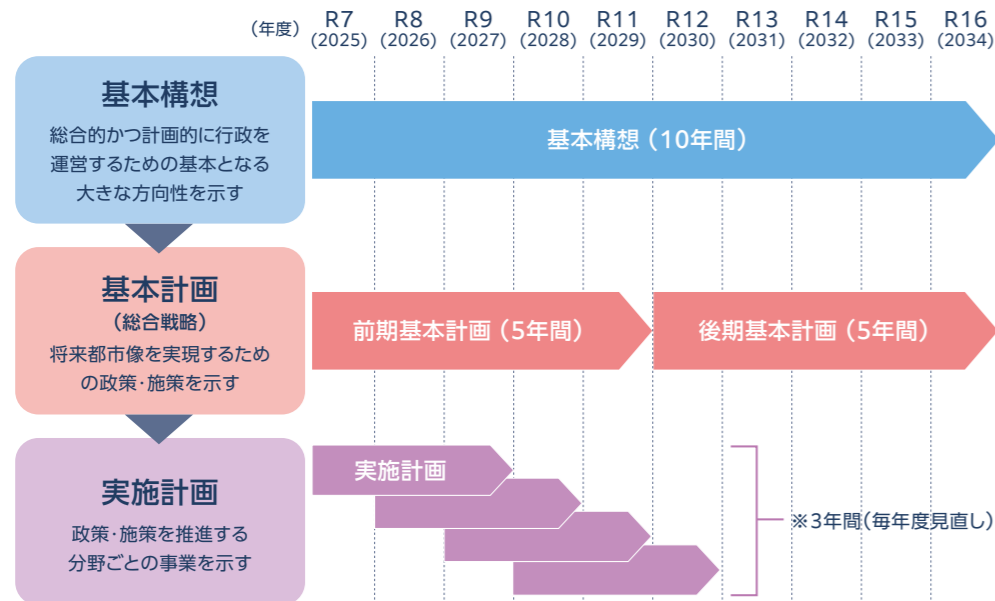
総合計画は、将来どのようなまちにしていきたいのか、どのように実現していくのかをまとめた、松山市の最上位の計画です。

### 総合計画の期間

「第7次松山市総合計画」の期間は、2025(令和7)年度から2034(令和16)年度までの10年間です。

### 総合計画の構成

「第7次松山市総合計画」は、基本構想・基本計画・実施計画の3つの計画で構成されています。



もっと詳しく知りたい方は、ぜひ松山市ホームページの「第7次松山市総合計画」をご覧ください。下の二次元コードからもアクセスできます。



## 【市民参加の状況】

新しい総合計画は、市民のみなさんや松山にゆかりのある人など、10,000人以上からご意見やアイデアをいただき作成しました。

| 名称                        | 対象者                                      | 実施時期  | 回答件数または参加者数                 |
|---------------------------|--|---|-----------------------------|
| 市民意識調査                    | 市民(18歳以上)                                | 2022(令和4)年11~12月                                    | 2,501件                      |
| 県外在住者意識調査                 | 愛媛県外に住んでいる人                              | 2022(令和4)年9~10月                                     | 239件                        |
| 小・中学生アンケート                | 小学校6年生<br>中学校2年生                         | 2023(令和5)年7~8月                                      | 2,980件<br>2,194件            |
| 高校生・大学生等アンケート             | 高校2年生<br>市内の学校に通う大学生<br>市内の学校に通う専門学生     | 2023(令和5)年7~8月                                      | 1,036件<br>423件<br>1,370件    |
| 結婚・出産等の希望に関するアンケート        | 市民(18~49歳)                               | 2023(令和5)年8月  | 826件<br>(男性371件、<br>女性455件) |
| まつやま未来ミーティング・タウンミーティング特別版 | 高校1~3年生<br>市内の学校に通う大学生<br>若手社会人          | 2023(令和5)年8、10月<br>2023(令和5)年6、7月<br>2023(令和5)年7、8月 | 45人<br>50人<br>50人           |
| 松山愛郷会 youth ミーティング        | 松山愛郷会 youth※<br>メンバーの大学生や社会人             | 2023(令和5)年6月<br>2023(令和5)年7月                        | 12人<br>19人                  |
| 分野別ワークショップ                | 商工業・観光業・農業・環境・防災の5分野の企業・団体に所属する人や関心のある市民 | 2023(令和5)年10月、11月、12月                               | 90人                         |
| 出張インタビュー                  | まつやま市民シンポジウムの来場者                         | 2023(令和5)年11月                                       | 62人                         |
| 有識者、企業・団体ヒアリング            | 各分野の学識経験者、企業・団体の代表者等                     | 2023(令和5)年9~11月                                     | 38人                         |

※松山愛郷会 youth…首都圏に住む松山出身の学生や若手社会人でつくる会

## 【2024年の市民の実感】

「まちづくりの分野別未来像(2034年の未来像)」の実現に向けて、市民のみなさんから見たまちの現在地を知るため、11の分野ごとにアンケート調査をしました。一人ひとりが自分にできることを考えて、みんなで「市民の実感」を高めていきましょう。

| 分野 | まちづくりの分野別未来像<br>(2034年の未来像)   | 2024年の市民の実感   | みなさんにやってみたいことの例   |
|----|-------------------------------|---|---|
| 1  | 【こども・教育】<br>こどもを輝く未来へつなぐ      | 地域でこどもを育てている<br>子育てしてよかったと思う市民の割合<br>95.6%                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て仲間をつくったり、子育ての楽しさをみんなに伝えたりする。</li> <li>● 身近にいるこどもをちょっと気にかけてみる。 ● 住んでいる地域の学校の活動に関心を持つ。</li> </ul>                             |
| 2  | 【福祉】<br>人と人の支えあいをつなぐ          | つながりと支えあいを大切にしている<br>地域や社会とのつながりを感じている市民の割合<br>62.0%        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● いくつになっても、気の合う仲間と一緒に好きなことを楽しむ。</li> <li>● 困ったことがあったら、ご近所さんで助け合う。</li> </ul>   |
| 3  | 【健康・医療】<br>健康をつなぐ             | 健康でいきいき暮らしている<br>医療体制が充実していると思う市民の割合<br>85.0%               | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 質のよい食事・睡眠、適度な運動で、自分の体を大事にする。</li> <li>● 感染症に気を付けて、健康で衛生的な暮らしを守る。</li> </ul>  |
| 4  | 【共生社会・コミュニティ】<br>自分らしさと誇りをつなぐ | 大好きな松山で、自分らしくいられる<br>地域に愛着や誇りを感じている市民の割合<br>78.6%           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が差別心や偏見を持っていないか、考えてみる。</li> <li>● まちの魅力を見つけて、さまざまな活動に参加する。</li> </ul>  |
| 5  | 【都市の魅力】<br>ワクワクを全国・世界へつなぐ     | 松山ファンが増えて、集まってくる<br>松山市の魅力が友人や知人に紹介したいと思う市民の割合<br>74.1%     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 松山の新たな魅力を見つけて、市外の人にも紹介する。</li> <li>● 観光や移住で松山に来た人に親切にする。</li> </ul>  |
| 6  | 【経済・産業】<br>人と仕事と暮らしをつなぐ       | さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる<br>現在の職場が働きやすいと思う市民の割合<br>70.8%      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分も仲間も気持ちよく働ける職場をつくる。</li> <li>● 普段から食べている松山の産品を市外の友達に勧める。</li> </ul>  |
| 7  | 【交通】<br>まちとまちをつなぐ             | 自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる<br>気軽に目的地へ移動しやすいと思う市民の割合<br>68.6%     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● できるだけ公共交通機関や徒歩、自転車で移動する。</li> <li>● まちの魅力を探しに、訪れたことがない場所に行く。</li> </ul>  |
| 8  | 【都市空間】<br>にぎわいと住みやすいまちをつなぐ    | 都会と田舎の住みやすさが共存している<br>松山市は住みやすいと思う市民の割合<br>92.2%            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 休みの日にはまちなかで買い物やまち歩きを楽しむ。</li> <li>● 水を大切に使う。</li> </ul>  |
| 9  | 【環境】<br>豊かな自然と暮らしをつなぐ         | 自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている<br>環境にやさしい行動をしていると思う市民の割合<br>76.5% | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみを減らしてまちをきれいにする。</li> <li>● 松山の自然に触れる機会をつくる。</li> </ul>   |
| 10 | 【安全・安心】<br>安全と安心をつなぐ          | 災害への備えがあり、安心できる<br>日頃から災害に備えていると思う市民の割合<br>54.5%            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の災害リスクを知り、避難所・避難経路を確認して、マイ・タイムライン(家族の防災行動計画)を作成する。</li> <li>● 自分や家族にあわせた非常用持出品・家庭内備蓄品を準備する。 ● 交通マナーを守って交通安全を心がける。</li> </ul> |
| 11 | 【連携】<br>つなぐを支える               | つながりがまちの活力になっている<br>デジタル化で生活が便利になったと思う市民の割合<br>65.4%        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市役所の手続きをオンラインでやってみる。</li> <li>● 市のイベントやワークショップで意見やアイデアを出す。</li> </ul>  |

※数値は、「2024年の市民の実感」に関する質問に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合です。

## 【松山市の特徴・強み】

「松山市はどんなまち？」と聞かれたら、みなさんは何と答えるでしょうか。  
みなさんに知ってほしい松山市の特徴や強み、その一部をご紹介します。

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>住みたい田舎<br/>ベストランキング2024</p> <h1>全国1位</h1> <p>人口20万人以上の市 総合部門<br/>宝島社『田舎暮らしの本』(令和6年)</p>                 | <p>防災士数</p> <h1>全国1位</h1> <p>10,819人(令和7年1月)</p>   | <p>紅まどんなの生産量</p> <h1>全国1位</h1> <p>1,166トン(令和5年度)<br/>まつやま農林水産物ブランド化推進協議会調べ</p>                       |
| <p>市民1人1日当たりのごみ排出量の少なさ<br/>県庁所在地／中核市62市</p> <h1>1位/2位</h1> <p>754.0g/人・日<br/>令和4年度一般廃棄物の排出及び処理状況等(環境省)</p> | <p>通勤・通学にかかる時間の短さ</p> <h1>全国2位</h1> <p>愛媛県56分/東京都92分/大阪府84分<br/>令和3年社会生活基本調査(総務省)</p>                  | <p>余暇時間の長さ</p> <h1>全国2位</h1> <p>愛媛県6時間49分/東京都6時間34分/<br/>大阪府6時間44分<br/>令和3年社会生活基本調査(総務省)</p>         |
| <p>空港への良好なアクセス</p> <h1>全国<br/>トップクラス</h1> <p>市街地から空港まで車で約15分</p>   | <p>総人口</p> <h1>全国1,698市町村中※<br/>7位</h1> <p>※特別区(東京23区)、政令指定都市を除く<br/>令和2年国勢調査(総務省)</p>                 | <p>事業所数</p> <h1>全国1,698市町村中※<br/>7位</h1> <p>※特別区(東京23区)、政令指定都市を除く<br/>令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)</p> |
| <p>美しいまちなみ<br/>アジア<br/>都市景観賞</p> <p>道後温泉周辺地区(平成28年)<br/>松山城周辺地区(平成30年)</p>                                 | <p>アニメ聖地88<br/>に選定</p> <p>作品名『がんばっていきまっしょい』<br/>(一社)アニメツーリズム協会<br/>『訪れてみたい日本のアニメ聖地88』<br/>(2025年版)</p> | <p>みんなを笑顔に<br/>“観光未来都市まつやま”<br/>～瀬戸内の島・里・山をつなぐまち～<br/>SDGs未来都市</p> <p>内閣府(令和2年度)選定</p>               |

## 【SDGsの概要】

### SDGsとは

2015(平成27)年に開催された国連サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。その中に掲げられた、「持続可能な開発目標」のことを、SDGs(Sustainable Development Goals)と言います。SDGsは2030(令和12)年を目標年に、17の目標で構成されています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す、世界共通の目標です。

### 松山市とSDGs

松山市は2020(令和2)年に国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されており、本計画の推進を通じてSDGsの実現に取り組みます。

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p><b>1</b> 貧困をなくそう</p> <p><b>目標1 貧困をなくそう</b></p> <p>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>  | <p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p> <p><b>目標2 飢餓をゼロに</b></p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>                                    | <p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p><b>目標3 すべての人に健康と福祉を</b></p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>                                    |
| <p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> <p><b>目標4 質の高い教育をみんなに</b></p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>  | <p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> <p><b>目標5 ジェンダー平等を実現しよう</b></p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う</p>                           | <p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> <p><b>目標6 安全な水とトイレを世界中に</b></p> <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>                                    |
| <p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p><b>目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>                            | <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> <p><b>目標8 働きがいも経済成長も</b></p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p> | <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p><b>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b></p> <p>強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>             |
| <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> <p><b>目標10 人や国の不平等をなくそう</b></p> <p>国内及び各国間での不平等を是正する</p>  | <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> <p><b>目標11 住み続けられるまちづくりを</b></p> <p>包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>                     | <p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> <p><b>目標12 つくる責任 つかう責任</b></p> <p>持続可能な消費生産形態を確保する</p>  |
| <p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> <p><b>目標13 気候変動に具体的な対策を</b></p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>   | <p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> <p><b>目標14 海の豊かさを守ろう</b></p> <p>持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>                               | <p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p> <p><b>目標15 陸の豊かさを守ろう</b></p> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p> |
| <p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p> <p><b>目標16 平和と公正をすべての人に</b></p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> | <p><b>17</b> パートナリーシップで目標を達成しよう</p> <p><b>目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう</b></p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる</p>       |  |

(出典) 外務省

## 第7次松山市総合計画

発行 松山市

編集 松山市 総合政策部 企画戦略課

〒790-8571

愛媛県松山市二番町四丁目7番地2

電話：089-948-6213 FAX：089-934-1804

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

発行日 令和7年3月



この冊子の印刷における電力の100%  
が、松山市の太陽光発電施設で発電した  
グリーン電力で賄われています。  
使用許諾番号No.00179